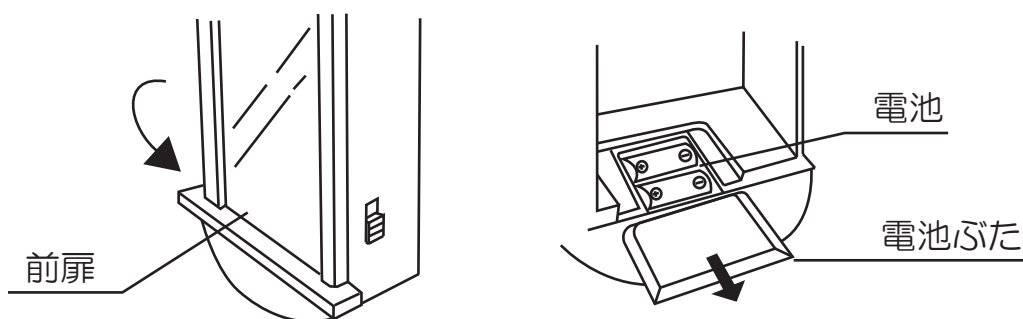


取扱説明書をご参照上のご注意

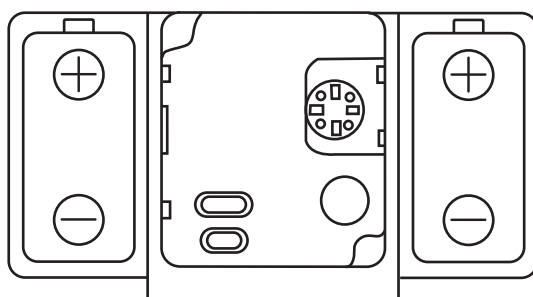
※こちらの商品は、電池を入れる場所によって、
ご参照いただく取扱説明書が異なります。

- 形状 A：電池を入れる場所が下図の場合
⇒ 2～3 ページの『ARQ-015P』をご参照ください。



【前扉の内にある場合】

- 形状 B：電池を入れる場所が下図の場合
⇒ 4～5 ページの『ARQ-002P』をご参照ください。



【裏面にある場合】

掛時計

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用願います。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認の上、お買い上げ店または、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。(例: AM000、PW000、KRO00など)

フリーダイヤル

お客様相談室  0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 ARQ-015P

製品仕様 ▶ (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 精 度 : 平均月差±2.0秒
(気温5℃から35℃で使用した場合)
- 使用温度範囲 : -10℃~+50℃
- 使用電池 : 単2マンガン乾電池 2個 (JIS規格 R14P)
- 電池寿命 : 約1年間
(単2アルカリ乾電池の場合約1.5年)
- 報 時 : チャイム・ストライク音の選択式
- 報時の仕方 : 毎正時/夜間自動鳴止め(午後11時~午前5時)の選択式
- 音量調節 : 無段階式

付属品 ▶

- 単2マンガン乾電池 2個 ● 取扱説明書(本書) 1枚 ● 保証書 1枚
- 飾り振り子 1個
- 掛け具(掛け金具1個、専用ネジ4本、止め金具用ネジ(小)1個)

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いません。この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

ご使用方法 ▶ (製品により外観、扉、電池の位置などが異なりますが、操作方法は同じです。)

1. 時計の前扉を開ける

2. 電池をセットする

前扉を開き、電池ふたを開けてください。単2マンガン乾電池2個を、電池ホルダーにしっかりとはめ込んでください。

※電池を入れるときは電池ホルダーの⊕⊖の表示に合わせてください。
※アルカリ電池もご使用なれますが、マンガン電池と併用しないでください。



3. 時刻を合わせる

【分針(長い針)を直接回す場合】

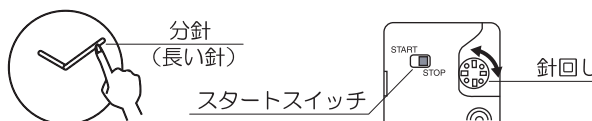
前扉を開けて分針(長い針)を指でゆっくりと回して時刻を合わせてください。

※針を回すとき、時針(短い針)には手をふれないようにご注意ください。

【裏面の針回しを回す場合】

裏面のふたを開けて、針回しを回してください。

●時計回り、反時計回りのどちらに回してもかまいません。(但し、反時計回りに回すと次の正時のみチャイムが鳴らない場合があります。)
時刻を合わせたら、スタートスイッチをSTARTに合わせてください。(時計が動きます。)

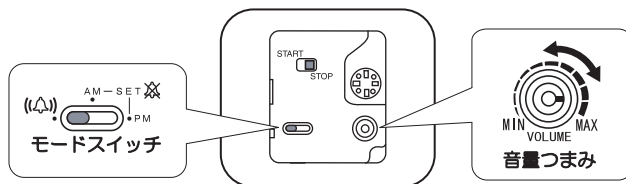


4. チャイムの音量と種類を選ぶ

- (1) 音量つまみを回して[MAX(最大)]の近くに合わせてください。
- (2) 曲切替スイッチを切替える度に、チャイムとストライク音が交互に鳴ります。音量つまみを回して、音量を調節してください。
- (3) 曲切替スイッチを切替えて、音の種類を選んでください。

[ウエストミンスターチャイム(チャイムとストライク)] ⇄ [ストライク]

※曲切替スイッチを切替えてチャイムを鳴らしたときは、時刻の数を知らせる音(ストライク音)は鳴りません。
また、電池を入れた直後、時刻を合わせずに曲切替スイッチをストライクに合わせてもストライク音は鳴りません。時刻を合わせて、時計を動かせば、次の正時(0分)から正しく鳴ります。



5. チャイムの鳴らし方を設定する

[常時鳴らす]、[昼間鳴らして夜間は鳴らさない(鳴止め時間: 午後11時~午前5時)]、[常時鳴らさない]の3通りがあります。

【常時鳴らす場合】

モードスイッチを(☺)に合わせてください。
毎正時にチャイムまたはストライク音が鳴ります。

【昼間鳴らして夜間は鳴らさない(鳴止め時間: 午後11時~午前5時)】

今の時刻が午前...モードスイッチを[AM]にする。
今の時刻が午後...モードスイッチを[PM]にする。

【常時鳴らさない】

音量つまみをMIN(最小)に合わせてください。

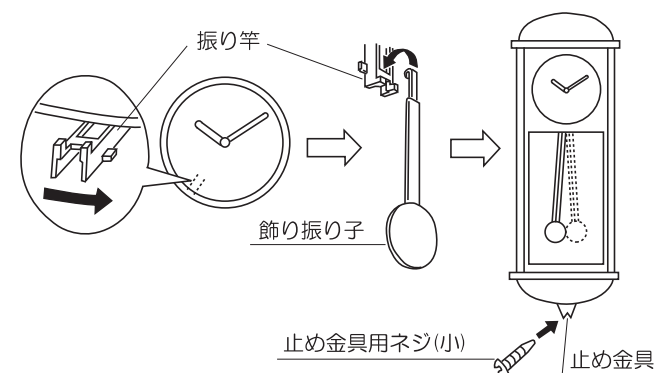
6. 時計を設置する

裏面のふたを閉めて、添付の掛け金具を使って時計を掛けてください。

7. 飾り振り子を掛ける

- (1) 正面の扉を開け、振り竿を右へ押しつぶらぶらにしてください。
- (2) 飾り振り子を振り竿の下部に掛けてください。
- (3) 時計の左右の傾きを直し、時計の下の止め金具をのぼし、ネジ(小)でしっかりと止めてから、飾り振り子を左右に軽く振らせてください。

※本製品の飾り振り子は装飾用ですので、時計の進み・遅れとは関係ありません。なお、飾り振り子に保護シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。



【ご注意】

- 電池の位置は製品により異なります。電池を入れるときは電池ホルダーの⊕⊖の表示に合わせてください。
- 本機を斜めに掛けたり、水平でない所に設置すると飾り振り子が動かないことがあります。
- 扉、ふた、飾り振り子の形状や位置は製品により異なります。

必ずお読みになってからご使用ください。▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起すことがあります。また、本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 塵、埃の多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まるがあります。
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まるがあります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガシが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。

※お客様が分解しますと、修理不可能な場合やけがの恐れがあり、大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

⚠ 警告

<アルカリ電池について>

- (1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。
ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。
※掛け具に時計を掛けただけ、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき

添付の掛け具をご使用ください。

石膏ボード、コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき

添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。
<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。



<乾電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1)⊕ ⊖を正しく入れてください。
- (2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3)充電式でない乾電池を充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	・電池が入っていない、正しい向きで入っていない ・電池の容量が少ない	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください
振り子が動かない	・電池が入っていない、正しい向きで入っていない ・電池の容量が少ない ・振り子がロックされている	・電池端子や接片の表面を拭いてください また、電池を入れて2~3回まわしてください ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください
チャイムが鳴らない	・音量つまみがMINになっている	・振り子を右へ押しつぶらぶらにしてください ・音量つまみをまわして音量を調節してください

保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、7年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店にご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお買い上げ店にお持ち込みいただけます。修理を依頼されるときはお買い上げ店にご持参ください。
- ご不明の点は裏面お客様相談室にお問い合わせください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

このたびはセイコークロックをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM000、PW000、KG000など)

フリーダイヤル

お客様センター  0120-315-474

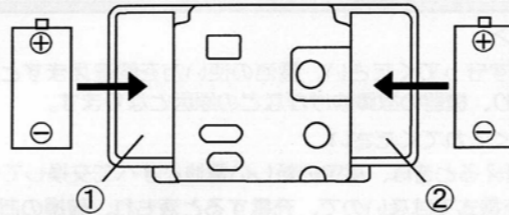
製造・発売元

セイコークロック株式会社

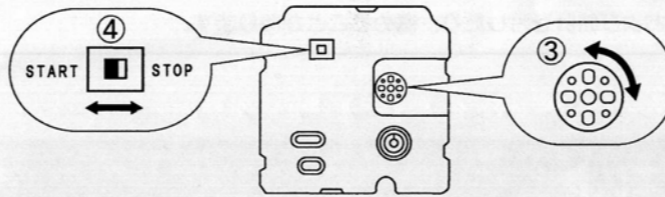
ご使用方法 ▶ (時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。)

1. 時計の付属品を出してください。
振り子
単2マンガン乾電池 2個
掛金具
2. 時計の裏のふたを開けてください。
3. 乾電池を電池ホルダー①②にしっかりとはめこんでください。

時計により、電池の向きが異なることがあります。
乾電池を入れるときは、電池ホルダーの⊕⊖の表示に合わせてください。

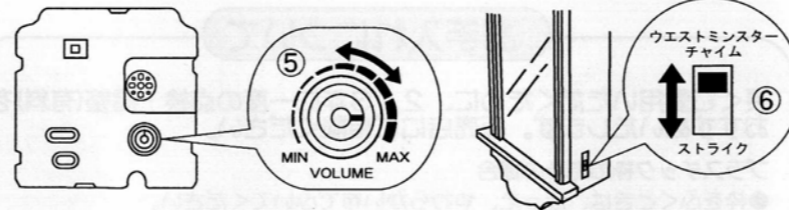


4. 針まわし③で時刻を合わせてください。
つぎに、スイッチ④をSTARTに合わせてください。
時計が動き始めます。



5. チャイムの音の大きさや種類を選んでください。
 - A. ボリュームつまみ⑤を回して、つまみ上の突起をMAX(最大)の近くに合わせてください。
 - B. 曲切替えスイッチ⑥を切り替えるたびに、チャイムとストライク音が交互に鳴ります。この音を聞きながら、ボリュームつまみ⑤を回して、音の大きさを調節してください。
 - C. 曲切替えスイッチ⑥を切り替えて、鳴音の種類を選んでください。
チャイムとストライク音またはストライク音のみの、どちらかを選ぶことができます。

(時計により、スイッチ⑥は上の方にある場合もあります。)



曲切替えスイッチ⑥を切り替えてウエストミンスターチャイムを鳴らしたときは、メロディだけが鳴り、時刻の数を知らせる音(ストライク音)は鳴りません。
時計を動かして時間が経過すれば、つぎの正時(0分)から正しく鳴りはじめます。
また、電池を入れた直後、針回し操作をしないで曲切替えスイッチ⑥をストライクに合わせても、ストライク音は鳴りません。
針回し操作を行えば、正常に作動します。

6. チャイムの音を鳴らしたり、鳴らなくするには常時鳴らしておく、昼間鳴らして夜間は鳴らさない、常時鳴らさない、の3通りの方法があります。

常時鳴らしておく場合

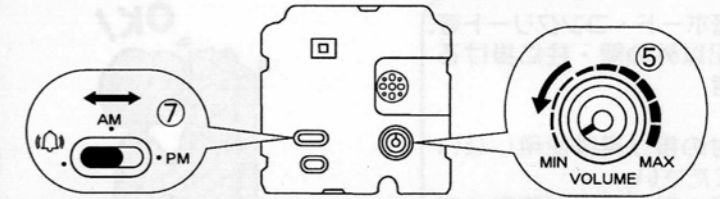
スイッチ⑦を(ON)に合わせてください。
毎正時(0分)に、チャイムまたはストライク音が鳴ります。

昼間鳴らして夜間は鳴らさない場合

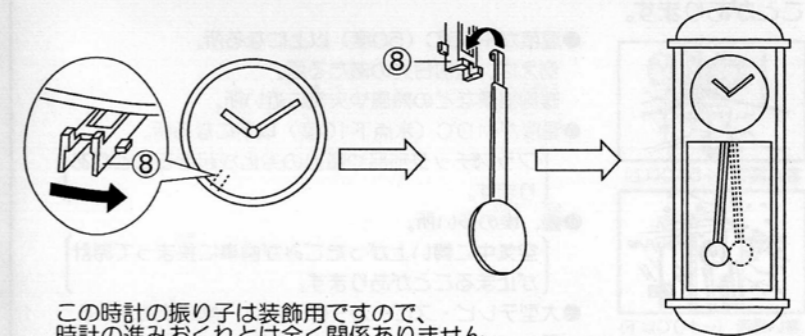
今の時刻が午前ならば、スイッチ⑦をAMに合わせてください。
今の時刻が午後ならば、スイッチ⑦をPMに合わせてください。
これで、午後11時から午前5時の間は、自動的に鳴らなくなります。

常時鳴らさない場合

ボリュームつまみ⑤をMIN(最小)に合わせてください。



7. 裏のふたを閉めてください。
8. 時計をかけてください。
”使用場所について(裏面)”をご覧ください。
時計をかけてください。
9. 振り子をかけてください。
 - A. 振り子かけ⑧を右方向に引いて、ぶらぶらにしてください。
 - B. 振り子かけ⑧に振り子を掛けてください。
 - C. 時計を垂直にして、振り子を左右に振らせてください。



この時計の振り子は装飾用ですので、時計の進みおくれとは全く関係ありません。

●チャイムの試し鳴らし

ボリュームつまみ⑤をMAX(最大)の近くに合わせから、曲切替えスイッチ⑥を切り替えてください。
切り替えるたびにチャイムとストライク音が交互に鳴ります。

⚠ 注意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。

落下により、けがをする恐れがあります。

壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき

添付の掛け具をご使用ください。

石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき

添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。

電池を入れ時刻を合わせたあと、時計を掛ける前に試し鳴らしボタンを押して、鳴音を聞きながら、音量を調節してください。また、掛ける時は時計を上下左右に軽く動かし外れないことを確認してください。



⚠ 警告

<アルカリ電池について>

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。

アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)⊕⊖を正しく入れてください。

(2)電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。

(3)この電池は充電式ではないので、充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

(4)電池に直接ハンダ付けしないでください。

(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

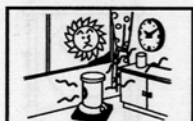
<ビニール系素材の壁や敷物等について>

壁や敷物および時計を汚したり、傷めることがあります。

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。



暑い場所 (+50℃以上)



寒い場所 (-10℃以下)



振動の激しい場所



湿気の多い場所

●温度が+50℃(50度)以上になる所。

例えば、直射日光のあたる所。
暖房器具などの熱風や火気に近い所。

●温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。

プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。

●塵、埃の多い所。

空气中に舞い上がったごみが歯車に挟まって時計が止まることがあります。

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。

磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。

●浴室などの湿気の多い所。

●振動の激しい所。

●工場、台所など多くの油を使用する所。

霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。

●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。

電池について

添付の電池は工場出荷時より付けられています。

時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

●時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。

時計に電池を入れたままにしておく、電池の電圧がさがり、中の液がもれて、時計やその周りの物を傷めることがあります。

●電池には水滴をつけないでください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。

●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、7年間保有しています。

この期間は原則として修理が可能です。

修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持ち込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

●ご不明の点は裏面お客様センターにお問い合わせください。

製品仕様 ▶

●精 度：平均月差±20秒
(気温5℃から35℃で使用した場合)

●使用温度範囲：-10℃~+50℃

●使用電池：単2マンガン乾電池(JIS規格R14P)2個

●電池寿命：約1年

●時報：チャイム・ストライク音切替え式
夜間自動鳴止め可能
音量調節可能

●報時精度：±30秒(報時音の鳴り始め)

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。